

ごあいさつ



広島県連合小学校長会 会長 空本 秀寿

広島県連合小学校長会は、永年にわたり、学校教育と学校経営に対する真摯な研究と実践を積み重ねるとともに、教育諸条件の整備に努め、小学校教育のさらなる充実と発展のために鋭意努力を続けてまいりました。本年度も、会員が一丸となり、是正指導を風化させることなく、新しい時代に対応しながら、地域社会から信頼され期待される学校経営を行ってまいります。

令和元年度末より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という危機的な事態に直面し、感染状況の予測が極めて困難な中、教育活動をどう進めていくかを常に模索し、試行錯誤を繰り返してきました。

本連合小学校長会も、コロナ禍の影響で、多くの行事等が制約され、総会・研究大会等に参加経験のある会員が少なくなっています。また、令和3年度から広島市小学校長会が、広島県連合小学校長会と組織上分離して活動を行うこととなるなど、県連小の運営面とともに組織自体も大きな転換期を迎えています。まさに、先行き不透明な中で正解のない問いに、いかにして立ち向かうのかが問われています。

そういうときこそ、県連小が設立された意義や目標等、原点に立ち返り、本当に大切なことは何かを考え、どうすればそれを実現できるのか知恵をしまり、周囲に協力を仰ぎながら、力強く前に進む県連小でありたいと思っています。

「SDGs」に掲げられた目標の一つで、生活への満足感や充実度、いわゆる「幸福度」を指す「ウェルビーイング (Well-being)」という言葉が注目されています。次期教育振興基本計画のコンセプトにも、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられています。子供たちの「ウェルビーイング」を高めるためには、教師の「ウェルビーイング」を確保することが必要です。教師の「ウェルビーイング」を高めるのは、私たち校長の役目です。社会に大きな変化が起こり、新たな常識が定着する「ニューノーマル」と呼ばれる時代に対応していくためにも、校長一人一人が、これまで先輩方が積み上げてこられた県連小の歴史と伝統を継承しながら、幸福度の高い持続可能な組織になることを目指し、「チーム広島」で子供たちの未来のために取り組んでまいります。

終わりにになりましたが、県連小に対し最大限のご支援・ご協力をいただいております広島県教育委員会並びに各市町教育委員会、関係機関の皆様へ感謝申し上げますとともに、広島市を含む県内446名の校長先生方が、幸福度の高い学校経営が実践できることを祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。